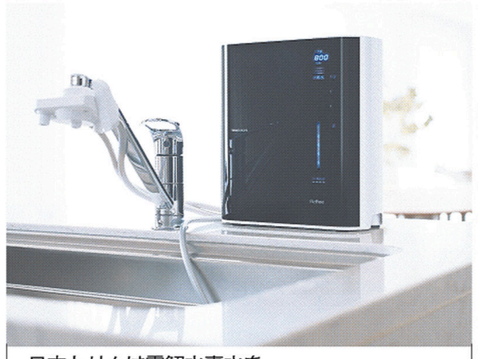
# 日本トリム、腸活に整水器

## 健康管理アプリのウンログと提携

## データ活用、サービス共同開発も



日本トリムは電解水素水を
つくる整水器を手掛ける

整水器で国内最大手の日本トリムは健康や美容のための「腸活」で、スタートアップのウンログ（東京・渋谷）と業務提携した。ウンログは便の状態を日々記録して腸の改善をサポートするアプリを手掛けている。整水器でつくる水素水は腸活に向くとみて、アプリ上に整水器の販売サイトを掲載するなどして販売拡大につなげる。

日本トリムは水道口に取り付け、水を電気分解することで「電解水素水」にする整水器を手掛ける。水素水は原水に比べてカルシウムイオンやマグネシウムイオンといったミネラル類が多く含まれる。日本トリムの整水器は医薬品医療機器法で医療機器として規定されており、胃腸症状の改善者のデータを活用した製品やサービスの共同開発も検討する。

水素水は薬局などで容器に入れた状態で販売しているものや、マグネシウムの入ったスティックを水に入れて水素を発生させるものなどがある。日本トリムの整水器は医療機器として胃腸症状の改善効果が認められているという。「薬ではないので飲用してすぐに症状が改善されるものではないが、日々継続的に飲用して症状の改善に役立ててほしい」（同社）。

日本トリムの23年3月期の連結売上高は179億円で、そのうち整水器が79億円だった。交換部品を含めた整水器関連の売り上げは全体の7割以上を占める。整水器を長く使用しても電解能力が下がらない技術などに強みを持つ。

27年3月期には連結売上高で320億円をめざす。うち整水器の売り上げを海外での販売強化などにより、23年3月期に比べて77%増の140億円にまで引き上げる目標を掲げる。

調査会社の富士経済（東京・中央）によると、乳酸菌などを含み腸活をうたうサプリメントや食品など、腸活関連の市場規模は22年には1兆円以上になった。高まる腸活需要を取り込もうと、今回のように異業種同士の提携も今後増えそうだ。（中村信平）

ウンログは腸の状態に応じ最適な食料を提案する

掲載日 2024年02月23日 日経ＭＪ（流通新聞） 006ページ © 日本経済新聞社 無断複製転載を禁止します。

許諾番号30097738　日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。